

黄金佛日記
不書す
可なり

取略
以子死
紙あり

お久
以
雜

用
以
あり

以
あり

以
あり

以
あり
批評

以
あり

以
あり

以
あり



風 可 羅 下 一 九 〇 廿 化 草

鐘 一 〇 以 之 廿 九 卅 卅

送 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

日 中 一 〇 卅 卅 卅 卅 卅 卅

〇 〇 〇 〇 〇

黃 金 佛

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇

青峰抄

信史

山崎山崎山崎

山崎山崎山崎

山崎山崎山崎

午比メキキ 正信子リヨキニ。地方郵税ニキカ生ノ折(知界
出費) 出費

甲の内) トノ甘マ高
杯に陸上トキニ
比懐笑

多系河下 知ホ山岩
二九 鉄ホ三重石

牛一(五) 蒸粉所 上

島田賢平 板





島根県 平塚

お暇 乞暇 以候に

此の如く 組多うに

牛乳。書簡 其 沢

此のお欲。組多うに

りまう。今年^志 今は他

のち 柳金 さいり之が

ありまう。らまう。よまう

左。新年 早々には

少息 豊隆 閣下、大先生

あとい寸 けんか

あまう。らまう。らまう。

かまゝに。ソウは。9通。

伊豆山はよふとらう

た。賀名9一うが

一まゝ。ペンタも一寸

行く。おまゝ。やす

と山の印。中一まゝ

一寸行く。おまゝ。ヤスイ

水あゝ。高は

百一年の年。の者

ちの。備

一と。あけ。おま

海。おま。元日

家。金。取。おま

おま。おま。おま

は別嬪がゆふ
少ま

すの。旅へ出ると
木 焚

目と係ふ討
多きが 為ふ

いとせいがふ
ちまぬ。昨

日 田村と
し 子 泣か々ど

来 庵、
あや 顔は

は了訓
とまがし

様
見了やう
如

かまえつ
素下 裸に

ちろそ
酒と 飲正
念と

やうう
みと ふうん
海

十之
燈籠
一ま一た。海

まは
申ラゲ
がーらん

うらう
かりし
は 念ふ

うらうらこりしは金ふ

儲けたるも 儲け

こみりぶりり うがも

しんらるる 金あふ

らるる 山あふ

山々 四六 四九

新

るる

三層

寺 峰 松 竹

東京府下

代々木山荘

るる 新 木 三層

知

乃空

三層在

青峰松竹

東京府下

秋木出流二元

乃空 乃空 乃空

伊豆玉

伊豆山

新吉所方

島田平

4.1.10





鈴木三重吉手宛一通

島田青峯宛



本間文庫
文庫 14
C 92

